【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【公開番号】特開2009-9016(P2009-9016A)
【公開日】平成21年1月15日(2009.1.15)
【年通号数】公開・登録公報2009-002
【出願番号】特願2007-172015(P2007-172015)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　15/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/00　　５５０

【手続補正書】
【提出日】平成22年6月17日(2010.6.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
板金と、
前記板金に取り付けられ、作動した場合に前記板金を振動させる加振源と、
を備え、記録材に画像を形成する画像形成装置において、
前記板金のうち前記加振源の作動により最も振動する領域に、前記板金から発生する騒音を低減させる穴が複数設けられていることを特徴とする画像形成装置。
【請求項２】
前記穴の直径が、１ｍｍより大きく５ｍｍ未満であることを特徴とする請求項１に記載の画像形成装置。
【請求項３】
前記板金のうち前記加震源の作動により最も振動する領域は前記板金の平面箇所であり、前記平面箇所において、前記複数の穴は２次元的に配列されていることを特徴とする請求項１又は２に記載の画像形成装置。
【請求項４】
前記穴は、隣合う穴との間隔が等しくなるように複数設けられていることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
上記目的を達成するために本発明にあっては、
板金と、
前記板金に取り付けられ、作動した場合に前記板金を振動させる加振源と、
を備え、記録材に画像を形成する画像形成装置において、
前記板金のうち前記加振源の作動により最も振動する領域に、前記板金から発生する騒音を低減させる穴が複数設けられていることを特徴とする。